



第11回定時総会

第11回定時総会

令和5年度第11回定時総会が開催され、各議案とも原案どおり承認された。

第11回定時総会が、令和5年5月29日(月) エスポワール愛媛文教会館（松山市）で正会員261名（委任状参加を含む）賛助会員5名が出席して開催された。

中畑副会長の開会宣言があり、続いて、会員の物故者に対し黙祷を捧げた。

西山会長の開会挨拶の後、表彰式に移り、愛媛県知事から産業廃棄物の適正処理を通じて生活環境の保全に寄与した個人2名、法人1社に対して感謝状が贈呈された。

また、協会長表彰として西山会長より功績のあった方々、功労者表彰2名、優良事業所

表彰3社、優良従業者表彰8名に対して表彰状と記念品が贈呈された。

表彰者を代表して知事感謝状を受賞された株式会社カネシロ 代表取締役 小池正照氏から謝辞があった。

その後、愛媛県知事 中村時広様（代読 愛媛県県民環境部部長 池田貴子様） 愛媛県議会議長 高山康人様（代読 愛媛県議会 環境保健福祉委員会 委員長 松尾和久様）、松山市長 野志克仁様（代読 松山市環境部部長 中島郁様）から祝辞を賜った。





第11回定時総会



第11回定時総会会長あいさつ

一般社団法人えひめ産業資源循環協会

会長 西山 周

第11回定時総会にあたり、協会を代表してご挨拶を申し上げます。

コロナ禍により会員の皆さんをお招きして開催する総会は4年ぶりでございますが、皆さんの顔を拝見でき、大変嬉しく思いますとともに、コロナ前の日常が戻りつつあることを実感しております。

まずは本日の総会に愛媛県の中村時広知事代理池田貴子県民環境部長様、愛媛県議会の高山康人議長代理松尾和久環境保健福祉委員会委員長様、松山市の野志克仁市長代理中島郁環境部長様を始め、多数の御来賓の方々に公務多忙の中をご臨席いただき厚く御礼を申し上げます。

また、本日、表彰を受けられる皆様には永年にわたる協会活動へのご協力を感謝いたしますと共に心からのお祝いを申し上げます。

そして、会員の皆様には、コロナ禍の3年間にわたりエッセンシャルワーカーとして感染防止対策を取りながら業務を遂行され、本県の生活環境の保全と、県民の安全安心の確保にご尽力されてこられたことに心から敬意を表しますとともに、平素より協会の事業運営に格別のご理解とご協力を頂いております事を衷心より御礼申し上げます。

さて、コロナ禍からの世界経済の回復に伴う原油需要の増加やロシアによるウクライナ侵攻の長期化などにより、燃料価格や電気代をはじめ様々な商品の価格が軒並み上昇し、事業活動に大きな影響を受けているところでありますが、一方で、SDGsやプラスチック資源循環促進法の施行、2050年のカーボンニュートラルの実現など、我々産業廃棄物処理業を取り巻く環境はめまぐるしく変化しております。

このため、我々は、厳しい経営環境の中にあっても、廃棄物の適正処理は勿論のこと、減量化や資源化の推進を図り、プラスチックごみや気候変動などの諸課題に対しても、一層取組を進めて行く必要がございます。

協会では、今年度も愛媛県や松山市をはじめ関係機関と連携して、3R補助金や各種研修会、県内外の先進施設に対する視察研修、3Rシステム等調査研究事業、HPを通じた各種最新情報の提供などを実施し、会員の皆様が、サーキュラーエコノミー（循環経済）へ適合した産業廃棄物処理業者として発展していくための御支援を行って参りたいと考えておりますので、積極的にご活用していただきますとともに、引き続き協会活動への御支

援、ご協力をお願いいたします。

そういった事業の一環として、昨年度、会員の皆様方に、もう一度原点に戻って廃棄物処理法を理解していただきたいということで、「いちからわかる廃棄物処理法」という本をお配りさせていただきました。本日の総会後の記念講演では、その本の著者であり、小澤英明法律事務所顧問で、元環境省 水・大気環境局長の鷺坂長美氏に「廃棄物処理法のこれまでとこれから」と題した御講演をお願いしておりますので、復習を兼ねて、ご清聴いただければと存じます。

次に、労働災害防止についてでございます。廃棄物処理業における労働災害の発生状況は全産業の中で飛び抜けて高いことから、この業界で働く方々の「安全確保」は喫緊の課題となっております。このため公益社団法人全国産業資源循環連合会では、令和9年度を目標年度とした5年間の「第3次労働災害防止計画」を新たに策定し、計画期間を上半期（令和5～7年度）と下半期（令和8～9年度）に分けて実施することとなりました。

これを受け、当協会でも、「令和5年度から令和7年度までの労働災害防止計画」を策定して、先般、会員の皆様へ通知させていただいたところです。労働災害を防止するためには経営者の意識改革を図ることが大切でありますことから、今回の計画では「全ての会員企業において、経営者トップによる所信

表明を行う。」という重点実施項目を新たに設けさせていただきました。

私も所信表明を行いたいと思いますので、皆さんも是非、所信表明を行っていただき、トップダウンによる積極的な労働災害防止の取組を進めていただければと考えております。協会では、会員企業の安全衛生水準のなご一層の底上げができるよう安全衛生管理研修会の開催や、ホームページの充実等による情報提供に取り組んでおりますので、是非ともご活用ください。

次に、災害廃棄物の処理についてでございます。近年、地球温暖化の影響により全国で大規模な自然災害が発生しているほか、近い将来、南海トラフ地震も発生すると言われており、災害に対する備えの重要性が叫ばれております。このため当協会においても、会員企業に対する支援可能な資機材調査や、情報伝達訓練を実施するとともに、関係機関と連携して図上訓練を実施し、災害廃棄物処理態勢の構築に向けて検討を進めているところでございますが、今後は、「仮置場設置訓練」などの実地訓練も実施していきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いします。

最後に、本日は、前年度の事業報告と決算の承認に加え、新年度の事業及び予算の報告、役員の補欠選任を予定しておりますので、よろしくご審議のほどお願いいたしまして、開会のご挨拶といたします。



第11回定時総会



祝 辞

愛媛県知事 中 村 時 広

本日、一般社団法人えひめ産業資源循環協会の第11回定時総会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から、環境行政の推進をはじめ、県政の各般にわたり格別の御理解と御協力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

また、さきほど、長年にわたる御功績により、感謝状並びに表彰を受けられました方々には、その御栄誉を心からおたたえし、今後一層の御活躍を期待いたします。

近年、地球温暖化の進行による世界規模での環境変化や、自然破壊による生物多様性の損失等の問題が生じており、脱炭素の推進、天然資源の消費抑制など、環境への負荷をできる限り低減させた循環型社会の構築が求められています。

このような中、県では、2050年のカーボンニュートラルの達成に向け、昨年11月に地球温暖化対策推進本部を設置し、EVの普

及拡大や水素エネルギーの活用促進など、各種施策を推し進めているところです。

更に、循環型社会の実現には、リデュース・リユースにより廃棄物の排出量を抑えるとともに、リサイクルにより最終処分量を減少させた上で適正に処理することが重要であり、昨年3月に策定した「第五次えひめ循環型社会推進計画」に基づき、県民、事業者、NPO等、さまざまな主体と手をたずさえて、廃棄物の減量化目標の達成に向けた対策を積極的に展開しています。

どうか皆様方におかれましては、こうした施策に御理解をいただき、今後とも、環境に配慮した持続可能な社会づくりに尽力され、「愛顔あふれる愛媛県」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、一般社団法人えひめ産業資源循環協会のますますの御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げまして、祝辞といたします。



第11回定時総会



祝 辞

愛媛県議会議長 高山 康人

一般社団法人えひめ産業資源循環協会の第11回定時総会が開催されるに当たり、県議会を代表してごあいさつを申し上げます。

皆様方には、産業廃棄物の適正な処理や3R等の事業活動を通じて、本県の環境保全と県民の安心・安全な生活の確保のために、多大なる御尽力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

また、先ほど表彰を受けられました皆様には、心からお喜びを申し上げますとともに、今後一層の御活躍を期待いたします。

御案内のとおり、産業廃棄物処理業界は、環境保全のみならず、地域社会を支えるという重大な使命を担われており、不法投棄等の不適正処理の防止をはじめとして、安全で環境への負荷の少ない処理方法の確立や、循環型社会の構築など、持続可能な社会の実現のために多くの役割を果たすことが求められております。

このような中、貴協会におかれましては、日頃から優れた処理業者を育成するための研

究会の開催や、産業の健全な発展を目指した廃棄物の適正処理と再資源化に関する調査・研究等に取り組みされるなど、県民の福祉や公衆衛生の向上、生活環境の保全に御尽力いただいておりますことは、誠に心強い限りであります。

また、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るったこの数年間においても、県民生活や地域経済の健全な発展のため、十分な感染防止対策のもと、事業を継続してこられた皆様方の御努力に対し、深く敬意を表するところであります。

県議会といたしましても、引き続き循環型社会の構築に向けて全力で取り組んで参る所存でありますので、皆様方におかれましては、今後とも、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、えひめ産業資源循環協会のますますの御発展と、御出席の皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、ごあいさつといたします。



第11回定時総会



祝 辞

松山市長 野 志 克 仁

本日、一般社団法人 えひめ産業資源循環協会第11回定時総会が、関係者の皆様の御出席の下、開催されますこと、心からお喜び申し上げます。

皆様には、日頃から松山市の環境行政に特別の御理解と御協力をいただき、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、許可更新に関する講習会をオンラインで開催したり、会員へ適切に情報提供するなど、産業廃棄物の適正処理に御尽力いただいております。深く敬意と感謝の意を表します。

さて、国は、令和2年10月に、2050年までに温室効果ガスの排出を全体で実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を宣言し、脱炭素社会の実現を目指しています。

そのような中、松山市は「ゼロカーボンシ

ティ」を表明し、更に再生可能エネルギー等を導入したり、ごみの排出を抑制し、リサイクルを推し進めるなど、温室効果ガス削減が期待できる施策に取り組んでいます。

また、近年、重要性が高まっているプラスチックの資源循環を進めるためにも、循環型社会へ移行することが必要ですので、貴協会の皆様には、産業廃棄物の適正処理をはじめ、3RとRenewableを推し進めていただき、「パートナーシップで未来へつなぐ 環境にやさしい循環型のまち まつやま」の実現に向けて、御協力をいただきますようお願いいたします。

結びに、貴協会の更なる発展と、御参会の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈りし、お祝いの言葉とします。



第11回定時総会

日時 令和5年5月29日(月)15:00

場所 エスポワール愛媛文教会館

議 事

第1号議案 令和4年度事業報告並びに収支決算の承認に関する件

(報告事項) 令和5年度事業計画並びに収支予算の報告に関する件

第2号議案 役員の補欠選任に関する件

第3号議案 総会決議事項の補正変更の委任に関する件

各議案ともに審議の結果、原案どおり承認された



引き続き下記の演題により講演会を開催した。

演題 「廃棄物処理法のこれまでとこれから」

講師 小澤英明法律事務所顧問 (元環境省水・大気環境局長) 鷲坂長美 氏



講演会の様子



講師 鷲坂 長美 氏

その後、別会場にて令和5年度第2回理事会を開催し、専務理事の互選を行った。

新専務理事には橋田直久氏が選定され、就任を承諾した。

懇親会

総会終了後、道後山の手ホテルに移動して4年ぶりに懇親会を行った。

西山会長のあいさつの後、永年顧問としてお世話になり、今回退任される森高康行様に感謝状と記念品を贈呈し、森高様よりお言葉を頂いた。続いて、愛媛県副知事の田中秀樹様、当協会顧問の西原進平様、西田洋一様からご挨拶を賜わり、愛媛県県民環境部部長池田貴子様の乾杯の音頭により開宴、多数の来賓の皆様を交えて終始、和やかな雰囲気の中で会員相互の親睦を深めた。

加藤副会長による中締め挨拶のあと、盛会裏に終了した。



森高元顧問に感謝状と記念品を贈呈



森高元顧問



田中副知事



西原顧問



西田顧問



池田部長による乾杯



加藤副会長による中締め



懇親風景



知事感謝状贈呈者

○知事感謝状（個人）



小池 正照 殿
(松山市：株式会社カネシロ 代表取締役)



小田原 大造 殿
(愛南町：株式会社酒井組 代表取締役)



○知事感謝状（法人）



有限会社三和興産 殿
(今治市：代表取締役 渡部 伸哉)





第11回定時総会

会長表彰受賞者

○功労者表彰（規定第4条2号該当）



近藤 雅美 殿
（新居浜市
一宮運輸株式会社）



三原 章裕 殿
（大洲市
株式会社ダイニンエコ工業）



功労者表彰代表 近藤 雅美 氏

○優良事業所表彰（規定第4条3号該当）



有限会社遠藤商事 殿
（松山市
代表取締役 遠藤七重）



株式会社カトウ 殿
（松山市
代表取締役 加藤正之）



有限会社二宮建設 殿
（内子町 代表取締役 小路岡恭二）



事業所表彰代表 株式会社カトウ

○優良従業者表彰（規定第4条4号該当）



手島 亮司 殿
（新居浜市
株式会社イージーエス）



奈良原 涉 殿
（新居浜市
株式会社イージーエス）



中山 和子 殿
（新居浜市
一宮運輸株式会社）



村上 清志 殿
（今治市
四国環境整備興業株式会社）



山口 真弘 殿
（松山市
株式会社トータス・グリーン）



菅田 美樹男 殿
（東温市
株式会社富久）



小西 隼人 殿
（伊予市
有限会社伊予開発）



中岡 龍二 殿
（内子町
エコブリッジ株式会社）



優良従業者表彰代表 手島 亮司 氏



受賞者代表謝辞 小池 正照 氏



表彰式の様子



令和5年度 第2回理事会の開催

第2回理事会を令和5年5月29日(月)エスポワール愛媛文教会館2階椿・藤で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 専務理事の選任について

会長より専務理事の選任案について説明を事務局に求めた。会長は各理事に諮りその結果、満場一致で次のように採択された。

決議事項 業務執行理事（専務理事）には橋田直久が選任され、就任を承諾した。

(2) 事務局長の承認について

提案通り橋田専務理事が兼務することで承認された。

(3) 新規加入及び退会の承認について

事務局より資料に基づき正会員1社の退会について説明があり、承認された。

2. 報告事項

(1) 委員会報告

事務局より資料に基づき、第1回企画広報委員会について報告があった。

(2) その他

① 今後のスケジュール

事務局より資料に基づき、概要報告があった後、第3回理事会を7月4日(火)に開催することとなった。



令和5年度 第3回理事会の開催

第3回理事会を令和5年7月4日(火)リジェール松山8階瑞穂で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 顧問・行政懇談会について

事務局より資料に基づき、令和5年度顧問・行政懇談会について10月2日(仮)に開催し、議題については、8月30日の総務委員会で議論する旨説明があり、承認された。

(2) 適正処理推進事業等活動支援金交付申請について

事務局より青年部と八幡浜地区及び宇和島地区の申請について、資料に基づき概況説明があり、承認された。

(3) 事務局より資料に基づき、正会員1社の入会と、1社の業態変更及び1社の退会について説明があり、承認された。

安定化分科会議事録(R5.4.11)、全産連第1回最終処分部会運営委員会議事録(R5.4.13)、全産連第1回マニフェスト推進委員会議事録(R5.5.16)、全産連第2回処分場早期安定化分科会議事録(R5.6.5)について、報告があった。

(2) 令和5年度3Rシステム事業化促進支援事業

事務局より資料に基づき、3Rシステム事業化促進支援事業審査会結果について報告があった。

(3) 事務局夏季休業期間の変更について

事務局より資料に基づき、事務局夏季休業期間の変更について報告があった。

(4) その他

事務局及び加藤副会長より、仮置場設置訓練の概況説明があり、12月上旬頃開催見通しの報告があった。また、今後のスケジュールとして8月30日の総務委員会、10月2日(仮)の理事会、顧問・行政懇談会、来年の定時総会の日程等について報告があった。

2. 報告事項

(1) 委員会等報告

事務局より資料に基づき、第65回全産連理事会議事録(R5.3.14)、第66回四国地域協議会議事録(R5.6.6)、全産連第2回混合廃棄物分科会議事録(R5.3.28)、全産連第1回処分場早期



令和5年度 第2回総務委員会の開催

第2回総務委員会を令和5年7月4日(火)協会会議室で開催した。議題及び協議結果は以下のとおりとなった。

1. 議 題

(1) 理事会提出議題について

事務局から、7月4日に開催する理事会の提出議題について以下のとおり説明があり、理事会提出議題として承認された。

① 顧問行政懇談会について

事務局より資料に基づき説明があり、10月2日(仮)に開催するとして理事会に諮ることになった。また、議題等詳細については8月総務委員会を開催して審議することとなった。

② 適正処理推進事業等活動支援金交付申請について

事務局より、青年部と八幡浜地区及び宇和島地区の申請について、資料に基づき説明があり、理事会で審議することとなった。

③ 新規会員加入及び退会の承認について

事務局より資料に基づき、正会員1社の入会と1社の業態変更及び、1社の退会について説明があり、理事会に諮ることとなった。

(2) その他

① 仮置場設置訓練について

事務局より資料に基づき説明があり、理事会に報告することとなった。

② 令和6年度以降の総会日程・会場について

事務局より説明があり、仮予約している令和6年度に加え、令和7年度についても仮予約することとなった。

③ 第3回総務委員会の日程について

8月の総務委員会の日程について、8月30日(水)13:30から開催することとなった。

④ 夏季休業の変更について

事務局より資料に基づき説明があり、理事会に報告することとなった。



令和5年度 第1回企画広報委員会の開催

第1回企画広報委員会を令和5年5月11日(木)、協会会議室で開催した。

1. 議 題

- (1) 「えひめの資源循環」第17号（5月号）
企画編集について

内容について協議し、「えひめの資源循環」第17号（5月号）を5月末に発行した。

- (2) ホームページについて

- アナリティクスのページで1月から3月のアクセス解析の報告及び現在のホームページ開設後の年度ごとの一覧とバナー広告等のクリック数の報告。
- 7月からアナリティクス4に移行されるため、今後はアナリティクスの解析ではなくアンドグロウ(株)から提供のアクセス解析とすることの報告。

(3) その他

- ① 「えひめの資源循環」第18号（8月号）の表紙について

- 表表紙・・・えひめの駅「星越駅」（桑原副委員長撮影済）
標識やポール削除済
- 裏表紙・・・自由写真「法華津峠」に決定。

- ② 次回委員会の開催日について

- 第18号（8月号）
令和5年8月9日(水)13:30～
- 編集後記・・・一色委員



令和5年度 優良産業廃棄物処理業者育成研修の開催

愛媛県からの受託事業である優良産業廃棄物処理業者育成研修会を、専門の講師を招き産業廃棄物処理業者を対象に下記の日程で開催した。

- 産業廃棄物処理の実務者研修
開催日 令和5年6月30日(金)
開催場所 リジェール松山
受講者数 69名
研修内容
① 開講挨拶
② 講義 「産業廃棄物処理の基礎」(講師 岩田 隆 氏)



- 処分業維持管理研修
開催日 令和5年7月19日(水)
開催場所 リジェール松山
受講者数 58名
研修内容
① 開講挨拶
② 講義 「石綿含有建材事前調査の概要及び留意点について」
内容 ○令和2年石綿関係法改正について
○書面調査及び現地調査の留意点について
(講師 一般社団法人日本アスベスト調査診断協会 理事補 深川 直美 氏)
講義 「石綿含有建材の産業廃棄物処理業者としての処理方法について」
(講師 公益社団法人全国産業資源循環連合会 専任講師 岩田 隆 氏)





2023年度産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会の開催について

廃棄物処理法に規定された産業廃棄物処理業の許可申請等に必要な専門的知識・技能の修得のため、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが毎年実施している講習会が、今年度は、インターネットで講義を受講する「オンライン形式」と、会場で講義を受講する「対面形式」により開催されている。

なお、愛媛県の試験は松山市の「愛媛県県民文化会館2階真珠の間」及び「リジェール松山8階クリスタルホール」の2会場で、開催結果は以下の通り。

○オンライン形式開催 試験会場（愛媛県県民文化会館）

試験日時	2023年6月7日(水)午前
講習会(課程)	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程（更新）
受講者数	49名

試験日時	2023年6月7日(水)午後
講習会(課程)	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）
受講者数	64名

試験日時	2023年6月8日(木)午前
講習会(課程)	特別管理産業廃棄物管理責任者講習
受講者数	37名

試験日時	2023年6月8日(木)午後
講習会(課程)	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程（更新）
受講者数	33名





令和5年度 3Rシステム事業化促進支援事業

3Rシステム事業化促進支援事業につきましては、4月11日から5月19日まで会員に対して募集したところ、2件の応募があり、6月1日事業審査会を開催して学識経験者及び行政による厳正な審査をしたところ、全件とも採択されました。

また、協会が行う3Rシステム等調査研究事業については、検討会を設置し、再資源化技術について分析検討や調査研究視察を行い循環型社会ビジネスの事業化について取りまとめるとともに、昨年度に引き続き研究成果発表会を開催するほか、災害時における対応強化のため、災害時に支援可能な資機材調査や情報伝達訓練を行いますので、会員の皆様の積極的なご参加をお願いします。



補助金の種類	補助対象事業	補助率	採択事業	補助額
3Rシステム事業化促進支援事業費補助金(会員)	ア 研究・開発事業 県内の産業廃棄物の3R及び減量化・製品化に資するための研究・開発及びそれを踏まえた機器整備	3/4以内 補助限度額 500万円	(有)ジー・シー・オー ・汚泥炭化物の有効利用に関する研究	500万円
	イ 技術・設備導入事業 産業廃棄物の3R化及び減量化・製品化の推進に係る技術及び設備の導入	1/3以内 補助限度額 500万円	中央建設(株) ・木質バイオマス発電等でのリサイクルに対応した木質破砕機導入事業	500万円
3Rシステム等調査研究事業(協会)	調査研究事業費 産業廃棄物の3Rのリサイクルシステム、新たな再資源化技術、災害時のBCP計画・災害廃棄物処理計画の策定等に資する調査研究	3/4以内	えひめ産業資源循環協会 ・3Rシステム技術研究調査事業	300万円

補助金総額1,300万円